

人気のアイテムを
使いこなそう！

高剛性アルミ構造材

ZF

No.2



従来のアルミから 飛躍的に剛性向上

高剛性実現のポイント

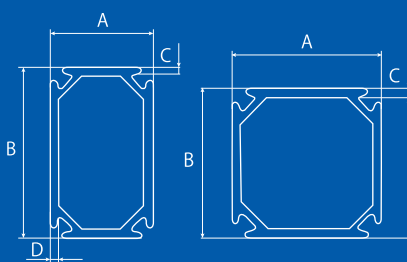
伝統木造技術を応用した接合方式

ZFはフレームの中に剛接合ジョイントを差し込み、4方向からボルトで固定する挿入方式の締結を採用。この発想の源は、日本の伝統的な木造技術の代表である「仕口」。木材の粘りや柔軟性を利用し接着剤や釘を用いず、木材同士を直交または斜交に接合する手法です。木に似た柔らかさや粘りを持つアルミの特性に着目し、応用しました。

高剛性実現のポイント

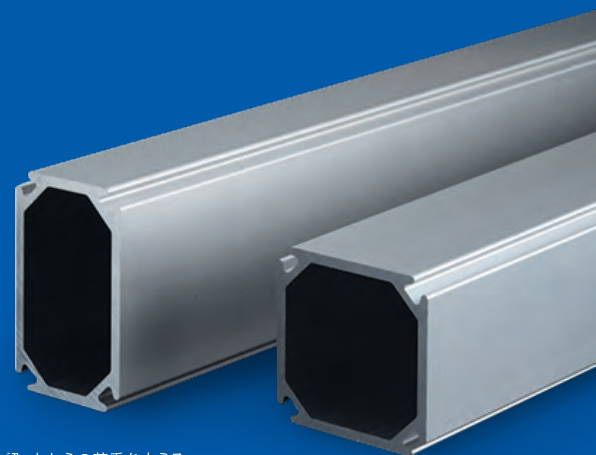
構造材としての役割を追求したフレーム断面

SUSがアルミフレームの製品名として使用している「構造材」という言葉は実は建築用語。荷重など構造にかかる力を負担する柱や梁のことを指します。ZFでは構造材において、柱と梁で求められる役割が異なることに着目し、フレームの断面形状を従来品から見直し、それぞれの役割に特化させることで、フレームとしての剛性も確保しています。



梁：断面図

柱：断面図



梁：上からの荷重を支える

柱：四方からの力を受け流す

